

## 2015年度コリブリ日本加盟校訪問 調査票

訪問日時: \_平成27年10月27日火曜日

高校正式名称: \_聖ドミニコ学園高等学校

| 学校情報 information de l'établissement |   |
|-------------------------------------|---|
| 住所<br>adresse                       | 〒157-0076<br>東京都世田谷区岡本1-10-1  |
| 電話番号<br>numéro de téléphone         | 03-3700-0017 fax03-5716-4646  |
| 最寄り駅<br>station/gare de proximité   | 用賀駅   |
| 校舎数<br>nombre de bâtiments          | 中高教室用建物 1棟<br>別棟「カタリナ」(売店、和室、部室、特別教室がある)<br>聖堂 など。<br>同敷地内に小学校と幼稚園が併設されており、行き来は自由。校舎の外の共有スペースでは幼稚園生から高校生までが、混じって活動している。 |
| 生徒数<br>nombre d'élèves              | 390人(中高)<br>1学年2クラス<br>創立1931年  |

|   |                                  |
|---|----------------------------------|
| 校長名<br>nom du Proviseur   | 高橋幸子先生                           |
| 国際課担当者名<br>nom de la personne en charge de la<br>relation inter'l | 平橋美樹先生                           |
| フランス語教師名<br>nom du professeur de français                         | 専任2人（内、小原祐美先生） 講師3人（フランス1人 日本2人） |
| 共学/男子校/女子校<br>établissement mixte/ garçons/filles                 | 中高女子校                            |
| 公立/私立   | 私立                               |
| 学校の特色 / 特徴 particularités de l'établissement                      |                                  |

|  |   |
|--|---|
| <p>履修科目に関する特徴<br/>particularités concernant des matières scolaire</p>        | <p>キリスト教は各学年1単位の必修<br/>コミュニケーション力に対する意識が創立当初から高い<br/>英語だけではなくフランス語にも力を入れる。修道会の共用語はフランス語。<br/>仏語関係の就職先が多い</p> <p>小学校：仏語と英語が必修<br/>中学校：フランス語 が週2時間必修<br/>高1からは第2外国語（つまりフランス語）は選択授業になる（週2時間の授業があり現生徒数32人）<br/>高2からは第1外国語として選べる（週9時間の授業。現生徒数は高2は3人、高3は6人）。これらの生徒は仏語選択者推薦枠の受験で優先される。</p> |
| <p>課外活動に関する特徴<br/>particularités concernant des activités extra scolaire</p> | <p>人気があるのはラクロス、テニス<br/>宗教行事で活躍する音楽部、管弦楽部、仏語部<br/>華道、書道、茶道、着付けなどもある</p>  |
| <p>その他の特徴<br/>autres particularités</p>                                      | <p>留学生が着付けやお琴を経験することも可能</p>   |
| <p>フランス語教育 enseignement du français</p>                                      |   |
| <p>コリブリエ加盟年<br/>Adhérent au Colibri depuis...</p>                            | <p>2006</p>   |
| <p>フランス語クラス開設年<br/>Enseignement du français depuis...</p>                    | <p>1931年</p>  |

|  |       |
|--|-------|
| コリブリ参加生徒数/年<br>nombre d'élèves participant au<br>Colibri par an      | 毎年2名  |
| 宗教 religion  |       |
| 宗教<br>quelle religion?   | カトリック |
| 宗教クラス：必修/選択<br>classes religieuses: obligatoires ou<br>optionnelles? | 必修    |
| 宗教クラス時間数/週<br>nombre de cours religieux/semaine                      | 週1時間  |

|  |   |
|--|---|
| <p>主観的に見た宗教色の濃さ<br/>degré d'implication religieuse</p>                 | <p>濃い<br/>カトリックの考え方を根付かせるように授業する。</p> <p>学校生活を送る中でも、例えば「宗教委員会」がある。<br/>また、全校生徒の為の聖堂朝礼や、聖書朗読、共同祈願などの宗教行事が月に一回の頻度で行われる。</p> <p>日課としては、校長朝礼があり、毎朝、校長先生のお話を聞いた後、聖歌を歌い、お祈りをする。終礼でもお祈りがある。</p> <p>カトリック信者は学年に10%くらいいる。教員も同様に10%くらいが信者である。学期末はミサがあるが参加するのは希望者のみ。</p> |
| <p>制服 uniforme</p>   |   |
| <p>制服の有無<br/>y a-t-il un uniforme?</p>                                 | <p>あり</p>   |
| <p>借用可能な制服の有無<br/>Peut-on en emprunter un?</p>                         | <p>あり<br/>(ただし、ニュージーランドからの留学生は自校の制服を着用)</p>   |
| <p>制服着用に関する厳しさ<br/>sévérité concernant l'utilisation de l'uniforme</p> | <p>第1ボタンは開け、第2ボタンは締めること。<br/>スカートの長さに関してはあまり厳しくない。厳しく取り締まらなくてもあまり問題がない。<br/>アクセサリ、ピアスは禁止。 髪は染めてはいけない。</p>   |

## 校則 règlements de l'établissement

|  |  |
|--|--|
| 登下校に関する主な校則<br>règlement concernant le trajet entre<br>le lycée et la maison | 立ち寄り禁止（但し保護者の許可があれば良い）   |
| 授業中に関する主な校則<br>règlement concernant les cours                                | 飲み食い禁止<br>休み時間には飲んでも良い。  |
| 生活態度に関する主な校則<br>règlement concernant la vie scolaire                         | アクセサリ、お化粧品は禁止。<br>音楽は歩きながら聴くのはいけない。これは危険だからという理由からなので、<br>電車内など聞く分は問題ない。 |
| その他の主要な校則<br>autres règlements   | 携帯は校内では電源をオフにして、カバンにしまっておく。<br>カメラは良い。                                   |
| 主観的に見た厳しさ<br>Degré de sévérité   | 朝は昇降口で生徒の様子を見る。<br>規則に例外を作る場合は、保護者からの届け出があり、それを教師間で共有する。                 |

## 雰囲気 ambiance

のんびりとしている

|                   |  |
|-------------------|--|
| 昼食時 repas du midi | お弁当を食べるか、売店（暖かい丼ぶりなど）で買う。 食べるのは教室内でなくても良い。 |
|-------------------|--|

|   |   |
|---|---|
| 放課後 après les cours   | 部活動は週に最高3日までという制限がある。                         |
| 時間割 emploi du temps   |   |
| 授業数及び時間/日<br>nombres de cours/ jour   | 月曜日のみ7時間授業で、残りは6時間授業<br>週5日制                  |
| コリブリ生徒用の時間割の有無<br>y a-t-il un emploi du temps aménagé<br>pour les élèves Colibri? | あり<br>中学のクラスにも参加する。                           |
| 授業開始時間<br>début du premier cours  | 8時25分から朝礼<br>8時40分から50分授業<br>お昼は45分           |
| 授業終了時間<br>fin du dernier cours  | 15時05分か16時05分（月曜のみ）に終わる。<br>その後終礼があり、掃除後、下校。  |
| 交流 échange  |   |
| 過去にあった問題点<br>problèmes rencontrés par le passé                                    | 仏人生徒がホストファミリーの家で自分の部屋の片付けをしないと保護者から指摘・苦情があった。 |
| 過去の良かった経験<br>expériences positives par le passé                                   | どの生徒も協力的で良い。                                  |

|  |  |
|--|--|
| 変えた方が良いと思われる事柄<br>A changer  | 時期的に中間試験に重なってしまうのが難点。試験は1週間程度続く。授業はないので2日間は家族と観光に行かせる。 |
| 仏人生徒が持ってきた方がよいもの<br>ce qui est souhaitable qu'un élève français amène                        | 体育のための服装の持参<br>空いている時間を有効活用するために、フランスでの自分の勉強も持ってくるとうい。 |
| 仏人生徒に訪日後にして欲しいこと<br>ce qu'ils veulent qu'un élève français fasse après son séjour            | 春に安心して日本人生徒を送り出せるように準備してほしい。                           |
| 仏人生徒に訪日中にして欲しいこと<br>ce qu'ils veulent qu'un élève français fasse pendant son séjour          | フランス語の授業への参加をしてほしい。                                    |
| 仏人生徒に訪日中にして欲しくないこと<br>ce qu'ils ne veulent pas qu'un élève français fasse pendant son séjour | 過剰に何か一つのことだけをする、というのは止めてほしい。                           |

### 総観 remarques générales

聖ドミニコ学園は、学校設立の発端が孤児の世話ということもあり、非常に温かい雰囲気というのが第一印象だった。

コリブリを介した交流では今のところ何も問題点はないとのこと。

コリブリの他に国際交流としてはニュージーランドとの交流があるが、その生徒達は日本語を学んでいる訳ではないこともあり、そこまで日本に興味を持ってくれない生徒もいるが、コリブリの生徒は積極的に、そして意欲的に日本に滞在している様子だとの感想。

学校規模の小ささを生かして、毎年創作ダンスコンクールでクラスごとにダンスを発表する。トラブルも成長につなげ、達成感を感じ、団結力を養ういい機会とのこと。

幼稚園から高校までの生徒が正門及び敷地を共有しているので、大きい家族のように過ごしていると校長先生がおっしゃる意味が一時的な訪問者である私にも実感できた。生徒と教師の距離も近く、信頼関係に基づいてコミュニケーションをとるのが学園の方針で、厳しく見える校則でも威圧的ではなく、多様性を重視し、肯定感を作ってあげたいと、校長先生は語る。のんびり、平和で暖かい雰囲気を感じることができるのではと思う。



教室



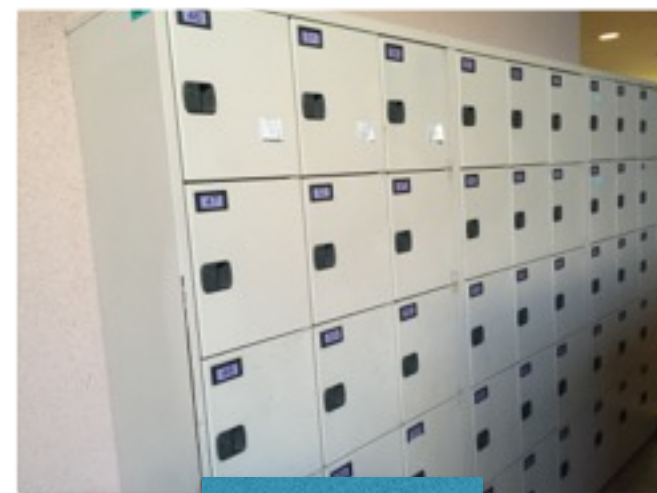
廊下の掲示物



聖堂



平橋先生（左）と小原先生（右）



昇降口